



『発達障害&グレーゾーンの子の「できた!」がふえる おうち学習サポート大全』(植木希恵 著, 主婦の友社 ;1650円)

- Chapter1 発達障害のある子どもにとって勉強とは？
- Chapter2 お悩み別 学習サポートのコツ
- Chapter3 学習サポートの基盤となる考え方
- Chapter4 宿題別 学習サポートのコツ
- Chapter5 長期休みの計画表づくりと学習サポート
- Chapter6 発達障害のある子が幸せに生きていくために



★超 具体的な学習サポートのコツがわかる!

宿題に時間がかかる	▶ 10分単位でやることリストをつくる
計算ドリルが苦手	▶ 定規で筆算の線を引いてあげる
漢字が上手に書けない	▶ 道具やノートを最適なものに変える
作文が書けない	▶ マインドマップでキーワードを書き留める

きらぼし学舎代表 個別指導教師 植木希恵

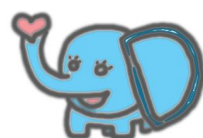
長男が、思春期の頃からずっとこだわっているのが身長。テレビで見る有名な俳優やスポーツ選手などの身長は、ほとんど覚えていません。また、23歳になっても、毎日欠かさず身長が伸びるストレッチをしています。170センチメートルの身長は、嘆くほど小さくないと思いますが、「子どものときに好き嫌いが多かった」「睡眠時間が足りなかった」と、ずっとクヨクヨしています。「今更言っても仕方ないやろ」と言ってしまう、ケンカになることも。ところが最近、「身長伸びたんじゃない?」「背高いなあ」と一声掛けるだけで、ゴキゲンになることが発覚。毎日、夫婦で声掛けをしています。(亜)

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@gmail.com

お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818

ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆第187号☆
発行日:2025年4月

****ダンボクラブについて****

発達障がいがどのようなものか知っていますか？
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか知っていただくために作りました。

☆☆☆活動報告☆☆☆

★保護者会 3/22(土)★
座談会と役員会がありました。

★成人当事者会「ワンピース」3/16(日)★

SST~ポッチャ~ テーマ【チーム戦を意識して積極的に楽しむ】
参加者 15名(うちスタッフ2名) 講師1名

今回は「チーム戦」を意識するという事で、普段、リーダーになる機会が少ない人をリーダーに選出し、周りがサポートするという形で SST が進行されました。試合前にチーム内で目標を決め、準備運動をした後、試合開始♪ ホワイトボードを時々見返しながら、そこに書かれた目標を意識する姿が見受けられました。両チームとも、相談したりされたりのやり取りをしながら、和やかな雰囲気ですべてプレイしていました。



2025 年度から、発達障害の可能性のある子どもや家族への支援が強化されます。⇒ 地域の子育てや保健、福祉の関係者と医療機関が連携。言葉の遅れや落ち着きがないなど、子どもの特性や心配事に関する「発達相談」を家族が早期に受けられる体制を整備し、スムーズな支援につなげる狙い。

こどもまんなか
こども家庭庁

地域におけるこどもの発達相談と家族支援の機能強化事業

新規

支援局 障害児支援課

＜児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金＞ 令和 7 年度概算要求額 293億円の内数（177億円の内数）

事業の目的

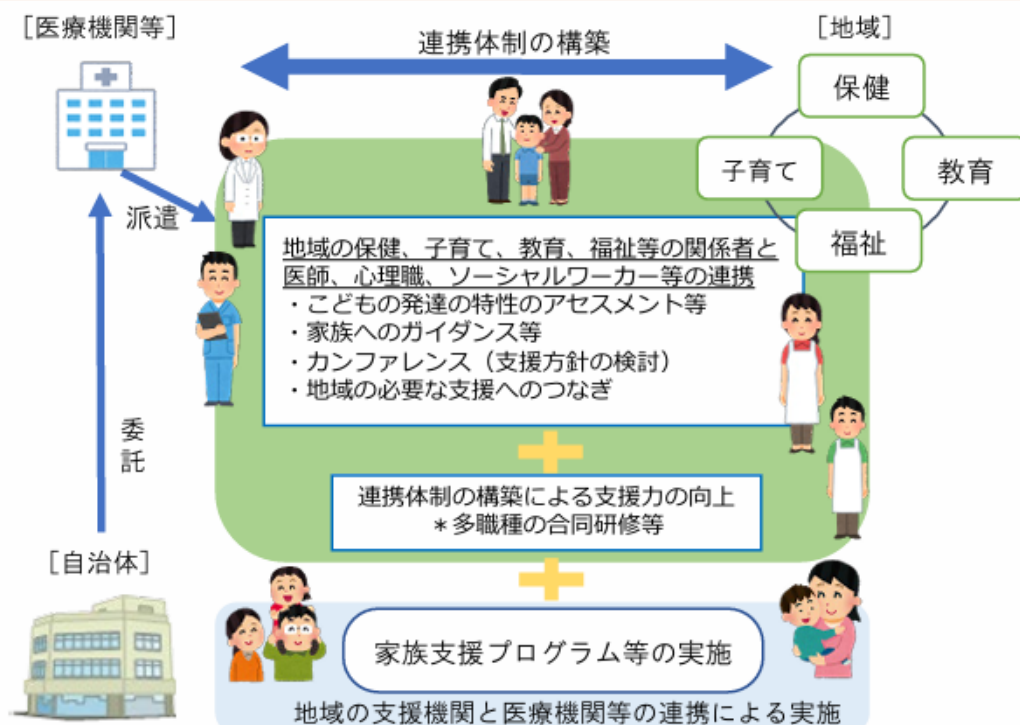
- 近年のこどもの発達の特性の認知の社会的広がりにより、幼少期の間に発達支援につながるようになってきた一方で、こどもの発達の特性への対応を専門とする医師の不足等が要因となり、発達障害の診断等を行う医療機関の初診までに数カ月も待たされる中で、スムーズに支援につながらないという実情がある。そこで、地域の保健、子育て、教育、福祉等と医療機関との連携体制を構築し、こどもの発達相談と家族支援の機能を強化することで、こどもや家族の支援ニーズに適切な時期に対応できる体制整備を進める。

事業の概要

- 発達に特性のあるこどもと家族に対し、地域の保健、子育て、教育、福祉等の関係者と、こどもの発達特性への対応の専門性を有し、地域の社会資源等を把握している医療機関の医師、心理職、ソーシャルワーカー等が連携して、こどもと家族が相談しやすい場所において、こどもの発達相談を実施するとともに、アセスメントやカンファレンス等を行い、必要な発達支援や家族支援につなぐ等の取組を行う。
また、多職種によるカンファレンス・研修等を通じて、地域の関係者の支援力の向上や関係機関が連携した家族支援プログラム等を実施する。

【医師、心理職、ソーシャルワーカー等の役割】

- こどもの発達の特性のアセスメントや家族へのガイダンス等を実施し、医療受診の必要性やその時期について見立てを行う。
- こどもと家族への日常的な支援に携わる担当保健師、保育士等、障害児通所事業所の関係者等とのカンファレンスを実施することを通して、こどもの発達特性の見立てを共有し、市区町村の社会資源に応じて、どこで、どのような支援を行うのかを共有し、日々の支援力の向上（多角的な視点での見立てや支援）を図る。
- 家族へのこどもの発達特性の理解や子育て支援が必要な場合は、市区町村もしくは圏域単位で家族支援プログラム等を実施する。



（令和7年度概算要求について（障害児支援関係）こども家庭庁支援局障害児支援課）